

こうみょう

第15号

この如来にょらいは光明こうみょうなり。光明こうみょうは智慧ちえなり。

智慧ちえはひかりのかたちなり。

親鸞しんらん聖人しょうにん著作しよく『一念多念文意いちねんたねんもんい』

過ごしやすい季節になってきました。とは言っても、まだまだ暑い日が続くようではありますが…。なんだか、四季がおかしくなってきた感じがいたしますね。

毎年のように、日本のどこかで、自然災害が起こっています。日本だけでなく、地球規模で自然災害が起こっているようです。人間の生活を改めなければならぬと、警告を発しているかのようにもあり、自然を破壊し続ける私自身の生活を顧みると、各地で起こる災害に責任の一端を感じてしまいます。

自分の都合を優先させ、都合に合わないものは切り捨てるといふ、人間の心の「ものさし」が問われています。

さて、今年から始めました「終活セミナー」ですが、3か月に1回のペースで、今までで3回開催してきました。

お寺という場所が、一人ひとりが人生を生きることに向き合っている機会を設けて、安心して生きていけるようになるよう、いろいろな機会を設けて、安心して生きていけるということを実感していただきたいと思います。そのための「終活」です。



瀬戸内のしまなみ海道、行ってきました！

第15号

2019年10月1日発行

発行責任者

〒135-0013

東京都江東区千田9-7

真宗大谷派 光明寺

住職 小林尚樹

電話：03-3644-3043

メールアドレス：

koumyouji@sky.plala.or.jp

第3回終活セミナーを開催しました

2019年8月27日火曜日、第3回「終活セミナー」を開催いたしました。

参加者は22名、ご門徒さんや地域の方にご参加いただきましたが、インターネットやフェイスブックを見て参加された方もいらっしやうて、良いご縁をいただきました。

セミナーのご講師には、司法書士の保科仁先生をお招きし、「遺言と相続について」というテーマでお話しいただきました。

相続については、相続人や相続分について、事例を交え具体的に説明いただきました。

遺言については、自筆証書遺言と公正証書遺言のそれぞれのメリット・デメリットについてお話しいただきました。また、来年の7月から始まる遺言書の法務局保管制度についてもご説明いただきました。

前半には、皆さんに「エンディングノート」をお配りし、書き方と書く際のポイントについて、そして書くことのメリットについて、住職よりお話をさせていただきました。



当日は、アンケートにお答えいただきましたので（19名）、ご紹介します。

◆セミナーの良かったところ

- ・話には聞いていたが、はじめてエンディングノートを頂いて、ゆっくり書いてみようと思いましたが（60代女性）
- ・わかりやすくよかったです（70代男性）
- ・終活セミナーを通して、終活云々ではなく、今までの自分、これからの自分を考えるきっかけを作っていただけところが良かったです（50代女性）

◆セミナー参加のきっかけは？

- ・自分の終活を考えたかった（60代女性）
- ・終活について、大事なことなので、勉強したいと思い参加しました（70代男性）
- ・元気なうちに何をやったら良いか、話を聞いてみたかった（70代女性）

◆新たな気づきや発見できたことは？

- ・これから先の人生を考えるきっかけになりました（60代女性）
- ・ノートを見ていて、死への整理ではなく、ご住職の話でも生きることへのテーマであるところだったので、終活への考えが、未来へ向けて変わった気がします（50代女性）
- ・遺言の書き方、公正証書の費用・証人など、やり方がわかった。もう少し調べてみようと思った（50代女性）

◆今後のセミナーで聞いてみたいこと

- 保険や年金…7名 デジタル終活…6名
- 遺品・生前整理…12名 認知症…2名
- お葬式…9名 おひとりさま終活…8名
- 介護・福祉…2名 散骨…1名

ということ、次回の「終活セミナー」は、「遺品・生前整理」で開催いたします。

仏事について……ごことが知りたい!

門徒もの知りず?

この言葉、聞いたことがあるでしょうか? お仏壇(お内仏)にお水や、亡くなった方が好きだった食べ物などを入れない、ということなどを、ご先祖を大事にしないと、門徒はそのような作法を知らないのだ、と、半ば揶揄するように言われていたようです。

それだけではなく、門徒は、通夜葬儀の際にも、いろいろな作法をやらないと、「もの知らず」だと言われていたのかもしれない。

でもそれは、大きな間違いです。むしろ、ちゃんと分っているのです。大切なことが。

それは、亡き方は、決して「靈魂」になつたのではないということです。私たちは、亡き方を「諸仏」として、出会い直してきたのです。私たちに大切なことを教えてくださる仏さまとして手を合わせてきたのです。

このように受け止めるとき、様々な「しきたり」が必要なくなってきました。

亡き方は靈魂ではないので、迷ってはいません。お腹が空くこともありませんし、のどが渴くこともありません。

亡き方は穢けがれてはいませんので、塩で清める必要はありません。靈魂ではありませんので、旅に出掛けることもなく、三途の川を渡ることもありません。だから、旅支度もしなければ、守り刀や六文銭も必要ありません。棺の蓋を釘で打ち付けて閉じ込める、そんな悲しいことをする必要はありません。靈魂となって憑よりつくことはありませんので、行き帰りで道を変える必要はありません。お骨上げのときに、二人で相ばさみでご遺骨を挟んで、どつちに憑よるか迷っているうちに骨壺に入れる、そんなことをする必要ありません。

浄土真宗では、亡き方から、やがて今のいのちは終わりを迎えるという厳肅な事実を教えていただきます。でもそれは怖くて寂しいことです。だから、仏の教えを聞くことが大切になってくるのです。

亡き方を仏として、大切なこと、本当のことを教えていただくのか、靈魂にして、恐れ遠ざけていくのかは、私たちの問題なのです。

真宗門徒の先輩たちは、亡き方を仏として、阿弥陀如来の浄土に還られた諸仏として手を合わせてきたのでしょうか。亡き方からの呼び掛けに耳を澄ませ、お念仏の生活をされてきたものと思います。

ですから、先に記したような、亡き方を靈魂として扱うような作法は、敬遠してきたのでしょうか。

分かっていたのです。亡き方は浄土に還られたと。迷ってなんかいないのです。迷っているのはむしろ私たちの方で、その我が身の事実を教えていただく場が、仏事なのです。

インターネットのウィキペディアで調べてみると、以下のように記してありました。

「門徒物知らず」とは、阿弥陀仏一仏に帰依をして、他の神仏を顧みないために、土地の神仏に関わる儀礼や風習にも関心を持たず、死者儀礼などに関わる習俗にも従わない真宗門徒の姿を、他宗の立場から「物知らず」と揶揄するものである。

真宗門徒は堂々と、手を合わせ、念仏申す生活を送りたいものです。

報恩講のご案内

宗祖親鸞聖人の御遺徳を偲び、阿弥陀如来の本願に出遇い得た喜びを、共に確かめ合いたいと思います。ぜひ御参詣ください。

期日 2019年11月10日(日)

日程 午後1時 「報恩講」開式

午後2時 ご法話 高濱浩暢たかはまひろのぶ師

(中野区・開教所正勸寺)

午後3時 お齋

※参詣をご希望の方は、お齋の準備の都合上、お寺までご連絡ください。

仏具お磨きのご案内

報恩講をお勤めするにあたり、本堂お内陣の仏具を磨きます。仏具を磨くことを通して、私自身の心を磨いているような気持ちになります。

多くの方の手をお借りして、報恩講が勤まります。お手伝いいただける方は、お寺までご連絡ください。

日時 2019年11月3日(日)

午後3時半〜5時ごろ

第4回「終活セミナー」のご案内

第4回の目玉は、「遺品・生前整理について」です。なんとも、「終活」っぽいテーマではありませんか。

参加費無料！ ぜひ、ご参加ください。

期日 2019年11月26日(火)

日程 午後2時〜4時

セミナー①「仏教の終活について」

光明寺住職より

セミナー②「遺品・生前整理について」

(株)ワンズライフ 社長 上野貴子さん

修正会のご案内

新しい年を迎えるにあたり、お寺で一緒に「正信偈」をお勤めしましょう。

ささやかではありますが、お節料理、お雑煮やお汁粉をご用意しております。

日時 2020年1月1日(水) 午前11時

※どなたでもご参詣いただけますが、準備の都合上、ご希望の方はご連絡ください。

ご報告

毎年8月、東京教務所を通じて、宗派への護持金等の納金依頼書が届きます。それぞれのお寺で提出している門徒戸数に基づいて、ご依頼額が決められます。今年度の光明寺へのご依頼総額は、八十五万八千円でした。

合わせて、2023年に厳修される、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要への懇志金が、今年から4年間で、三十八万六千円がご依頼されており、同時に完納させていただきました。

今年も無事に納金を済ませることができましたこと、皆さまに御礼申し上げます。

本来であれば、皆さま方お一人お一人が、宗祖親鸞聖人と出会う「本願寺」を護持するために納めいただいたご懇志を納金するところではございますが、光明寺にはまだそのような仕組みができておりません。

従いまして、お寺の布施収入より、護持金をお納めしている状況です。

いずれ、護持会費として皆さま方にお願ひしてまいりたいと考えておりますので、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。